



越前松島水族館の魅力

動物と近距離

発行者

ワンジユワエン
リウメンチー
ウリンボ
シートウワイ



みなさんは水族館が好きなのか？ガラスを隔てなくて、海洋動物を触ってみたいのか？越前松島水族館の規模はそんなに大きくないけど、「動物と近距離でいる」ことで多くの観光客をひきつけている。日本で有名な水族館になる。今日は一緒に自然を触れ合って、越前松島水族館の魅力を見つけましょう！

越前松島水族館に来た観光客に越前松島水族館の一番好きなこと・ところについてインタビューした。

今回の統計の人数は20人で、男性観光客は8人、女性観光客は12人である。1位は「触れ合うことができる」(40%)というところで、2位は「ペンギンのお散歩

/// 観光客にとって此処の魅力

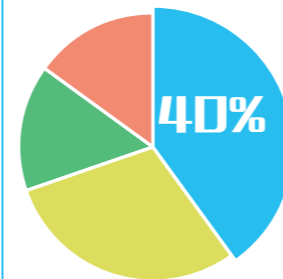
「タイム」(30%)というショー、そしてイルカショー(15%)とカワウソのお食事タイム(15%)は同じく3位になるという結果である。

ペンギンのお散歩が好きな観光客は、「他の水族館と違って、近い距離でペンギンを見る、一

緒に散歩することができるから」と言った。また、この水族館では、アザラシ、巨大なタコ、サメ、エイ、磯の生物などの海洋生物を触ることができる。「この水族館は他の水族館より触れ合うチャンスが多い」というのも、この水族館に

来る理由の一つということが明らか。また、水族館の定番、イルカショーは当たり前のように人気を呼んでいるが、この水族館は特別なクリスマスショーを見せてくれた。家族一緒に寝たり、遊ん

だり、喧嘩したりするカワウソはとても可愛くて好かれる。それにしても、観光客が一番好きなのは触れ合うことができる。なぜなら、動物と近距離タッチできるから。

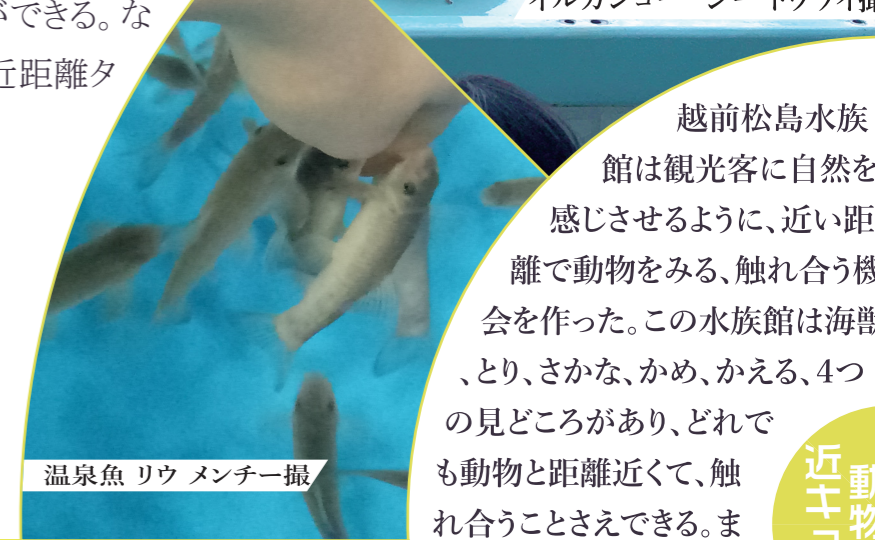


- 触れ合うことができる
- ペンギンのお散歩タイム
- イルカショー
- カワウソのお食事タイム

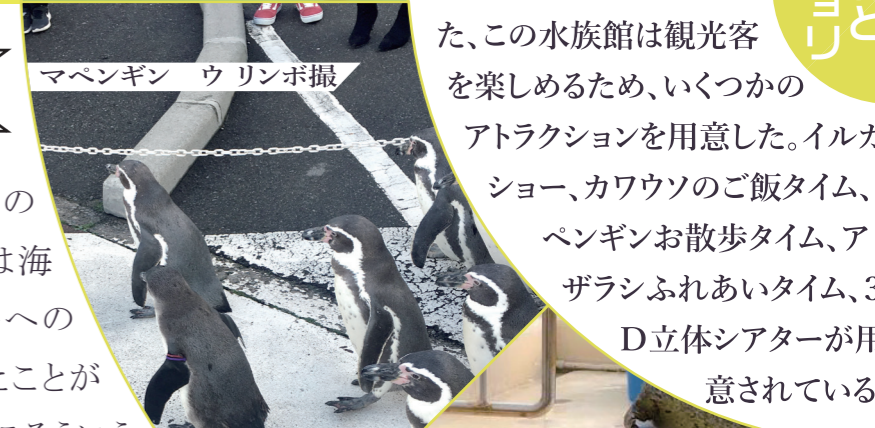
調査結果図 観光客一番好きなこと・ところ



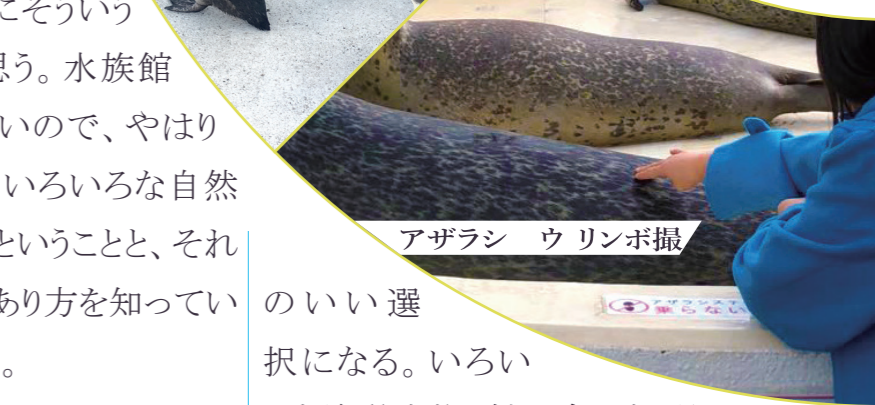
イルカショー シートウワイ撮



温泉魚 リウメンチー撮



マペンギン ウリンボ撮



アザラシ ウリンボ撮

越前松島水族館は観光客に自然を感じさせるように、近い距離で動物をみる、触れ合う機会を作った。この水族館は海獣、とり、さかな、かめ、かえる、4つの見どころがあり、どれも動物と距離近くて、触れ合うことさえできる。また、この水族館は観光客を楽しめるため、いくつかのアトラクションを用意した。イルカショー、カワウソのご飯タイム、ペンギンお散歩タイム、アザラシふれあいタイム、3D立体シアターが用意されている。

動物と近距離

Q:水族館の一番自慢なところはなんでしょうか。

言で言うと、うちの水族館の一つのテーマは色々な動物と触れ合えることだ。動物との距離が近くて、体感できる。

Q:水族館のターゲットはなんでしょうか。

休日に越前松島水族館に来たお客様は家族が一番多い、次は夫婦や友達だ。狙いはやはり、子供が中心になってもらって、いろいろな生き物と自然のことについて



自分たちのことを考える、振り返るという意味では、大人の方もターゲットになると思う。(カワウソ ウリンボ撮)

60年間やり続ける水族館 経営者に聞いてみた

Q:水族館の一番人気があるのはなんでしょうか。

水族館で一番も人気があるところはやはりイルカとかペンギンとかだ。お客様の目線から見ると、

イルカとか、ペンギンとか、カワウソとか、動物芸などは人気があると思う。

副館長からお客様へ一言



副館長稲木明浩へのインタビュー ワンジユワエン撮

昔が読んだ本の中に、水族館は海への入り口、海への扉だと言われたことがあるけど、確かにそういう役割だと私は思う。水族館がすべてじゃないので、やはり水族館の先に、いろいろな自然は広がっているということと、それと関わる人間のあり方を知っていただきたいと思う。

END 終わりに

「見て、ふれて、学べる」越前松島水族館は、休日を過ごすため

のいい選択になる。いろいろな海洋生物と触れ合いながら、自然や生きることの美しさを感じ取ってもらい、そして人間のあり方について考えさせるというのは、水族館の役割であろう。